（様式1）

学校番号	85	学校名	茨城県立古河第三高等学校

令和8年度道徳教育全体計画

諸法規

日本国憲法
教育基本法
教育諸法規
学習指導要領　等

校訓

自立・敬愛・創造

学校の教育目標

「自立・敬愛・創造」の校訓のもと、一人一人の個性と資質・能力の伸長を図り、広く社会に貢献することができる人材を育成する。

生徒の実態

ほぼ全生徒が上級学校への進学を希望している。基本的生活習慣はおおむね確立されており、規範意識も高い。真面目で勤勉な学習態度に加え、穏やかで心優しい生徒が多い。また、プレゼンスキルをはじめとした、公の場で発表を行う能力を備えた生徒も多く見受けられる。

保護者の願い

四年制大学進学、特に国公立や首都圏私立大学への進学を希望している。

道徳教育重点目標

1　多様性を認める
2　自主性・自立心を育てる
3　社会性を身につける

地域の実態

茨城県最西端の首都圏ベッドタウンであり、生活圏・意識ともに隣接県や都心との結びつきが強い。

各教科・科目

国語	自立・独立・思いやり 広い心、謙虚な心 伝統文化、郷土愛
地歴	社会連帯、責任感 日本人としての自覚 国際理解
数学	論理的思考 数学的判断 公平、公正
理科	自然愛護 生命尊重 実験・観察への好奇心
保体	生きる喜び くじけない心 集団生活の向上
芸術	生きる喜び 豊かな教養 伝統文化 人間理解
外国語	異文化理解 母国理解 他との関わり 国際的な視点
家庭	自立 共生 家族愛 生命尊重
情報	情報活用能力 人間のあり方生き方 情報社会への適応
総合的な探究の時間	自己と関連づけられた課題 社会との接続 横断的な学び
専門	

特別活動

ホームルーム活動

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。集団や社会の一員として、よりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を最大限に生かす能力を養う。

生徒会活動：生徒会役員が中心となり、学校行事やボランティア活動の取り組みを通して、愛校心や郷土愛、主体的な態度や協働の精神を養う。

部活動：部活動を通して、基本的生活習慣を確立し、協調性や忍耐力を養う。

公民科

公共

社会的な見方・考え方を働かせ、現代社会の諸課題を追究・解決する活動を展開する。それらを通して広い視野を養い、社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

自立した主体となるため、青年期における思考と行動のあり方を模索する。また、個人の尊重を基盤とし、対話を通じて他者を深く理解する姿勢を養う。
持続可能な地域・社会の担い手として、公共の精神に基づき自立した主体となることを目指す。その過程において、幸福、正義、公正等の視点に着目し、現代社会の諸課題を多角的・多層的に探究する活動を展開する。

生徒指導

基本的生活習慣の確立は生徒支援の根幹をなす重要目標であり、本校生徒は概ね良好な状況にある。一方で、個々の発達段階に鑑みると、「主体的な行動」や「対人関係構築能力」の向上など、依然として課題も見受けられる。生徒の「自立・自律」に向け、更なる成長を促す支援を徹底したい。
また、交通安全の徹底とともに、危機管理意識の向上と生命尊重の精神を継続的に啓発していくことが肝要である。

家庭との連携

全体としてはPTA総会の決議事項を遵守し、PTA活動を軸とした連携を図る。PTA活動や学級・学年懇談会、三者面談等を通して、学校と家庭の相互理解を深める。
各担任においては、欠席連絡時の状況確認をはじめ、必要に応じて家庭訪問等を行うなど、家庭との密な連携に努める。
また、学校ホームページ等で学校行事の様子を発信し、地域および保護者からの理解と協力を得る。

地域社会との連携

ボランティア活動、文化祭、学校公開等の機会を通して、地域に開かれた学校としての姿勢を積極的に発信していく。キャリアガイダンスやゲストティーチャーによる講話では、卒業生や地域社会で活躍する方々から知見を得ることで、「社会参画」や「公共の精神」を養う。
また、総合的な探究の時間においては、生徒が主体的に地域・社会と繋がりを持ち、学外の多様な主体と関わる機会を積極的に創出する。